

米の大学「充実の環境」

図書館蔵書数世界一のハーバード大など

現地見学の叡智学園高生報告



見学した米国の大学の特徴を伝える、奥右から杉山さんと山根さん

国際的な教育プログラムを導入している、大崎上島町の広島叡智学園中・高で13日、ハーバード大など米国の大学を見学した高校生の報告会があった。生徒約50人に現地の多彩な教育環境を伝えた。

高校2年の杉山千弥さん(16)と山根蒔さん(16)の2人で、4月下旬から約1週間、笹川平和財団(東京)が主催するツアーに参加。米東海岸の6校を訪れた。

報告会では、ハーバード大の図書館蔵書数が世界中の大学の中でトップである点など各校の特徴を紹介。リベラルアーツ(教養)教育を進めるスワースモア大などでは日本人の学生たちと意見交換したとし、少人数や討論形式の授業を通して幅広い分野の学びが得られる環境があると伝えた。杉山さんは「現地でしか体感できない情報が得られ、新たな選択肢と目標ができた」。山根さん

中国新聞 (朝刊)

2024年5月14日 (火曜日)

22面掲載記事

は「教授や寮の雰囲気、学生へのサポートも印象的だった」と話した。

(渡部公揮)